

「いのちを支える支援ワーキング」 関係機関ワークショップ

日時：平成30年8月8日（水） 午前9時30分～11時30分

場所：清須市役所南館3階大会議室

内容：清須市の自殺の現状と対策、参画団体の支援状況について情報交換、
地域でできることについての討議

参加団体

【市民団体】精神保健福祉ボランティア虹、傾聴ボランティアみみとも、ゲートキーパー

【支援団体】特定非営利法人 太陽 七彩工房、尾張断酒会

【地元企業】エムエス企画 経営企画室、

三菱重工 サーマルシステムズ株式会社 安全保安グループ

【社会福祉協議会】障がい者サポートセンター清須、地域包括支援センター

【市内小・中学校】桃栄小学校長、清洲中学校長

【西枇杷島警察署】【西春日井広域事務組合】【清須保健所】

【市役所】社会福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、健康推進課 以上18団体26名

【支援状況の情報交換：各団体（主に企業と学校）から取り組みの紹介】

企業：ストレスチェックを実施し、高ストレス者に対して産業医による面談でストレス軽減のアドバイスをを行い、状況によっては就業制限措置を講じる。

マッサージルームの開設やヨガ教室を実施。

学校：自他ともに命を大切にすることへの啓発活動、こころの悩みを早期に捉えるためのアンケートや生徒観察を実施。

【地域でできることについて：ケースワークの感想】

- ・学校が、一人ひとりの生徒に熱心に関わっていることが良く分かった。
- ・各団体の役割が分かり、その上でケースについて、どのように対応をしたらいいのか話し合うことができ、自殺対策の視点を持って支援する一助になった。
- ・多分野の参加により、視点が広がり、同じ部署の中で抱えると発展しないことに気づいた。

【まとめ】

自殺対策を「地域づくり」として展開するために、自殺対策の現状と目標を共有でき、各団体の役割と、連携することの重要性を共通認識できた。

今後、自殺対策の担い手を増やしていくことも重要だと感じた。

